

## 人間環境学部の教育方針（2022年度生用）

人間環境学部では、持続可能な社会を構築するために、社会・文化・経済・政治・法律・自然などが複合的に関連する領域において、環境問題を総合的に把握・分析し、有効な解決策を見出すことのできる社会科学系の環境の専門家を養成することを目的としています。

### I. 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

人間環境学部は、持続可能な社会の実現に貢献できる学生を養成するため、以下の3点を学士課程教育として身につけるべき学士力として明示します。

#### 1. 知識・技能

社会・文化・経済・政治・法律・自然などが複合的に関連する領域において、環境問題を総合的に把握・分析できる広い視野と知識・技能を有するようになること。

#### 2. 思考力・判断力・表現力

獲得した広い視野ならびに修得した知識・技能をもって、多様な環境問題の解決策を考察できる論理的な思考力・判断力・表現力を有するようになること。また、自分の考え・判断のプロセスを説明するためのコミュニケーション能力を有するようになること。

#### 3. 多様な人々との協創

地域社会から地球全体に至る様々な環境問題を自分の問題として共感的にとらえ、持続可能な社会の実現のため、多様な人々と協調・協働しつつ、主体的に行動する意志を有するようになること。

### II. 教育課程の編成方針（カリキュラム・ポリシー）

人間環境学部は、持続可能な社会の実現に貢献できる学生を養成するため、以下の3点を教育課程の編成方針として明示します。

#### 1. 基礎から発展へ

人間と環境の関わりを学ぶために必要な基本概念を学ぶ入門科目、環境問題を科学的に考察するために必要な基礎知識を学ぶ基礎科目、環境問題を解決するために必要な専門知識と方法論を学ぶ発展科目を体系的に配置します。

#### 2. 視野の拡大

環境問題に関わる学問分野を7つの小さなまとまり（環境政策・環境経営・環境経済・環境教育・地域環境・科学技術・人文科学）に分類し、学生の興味・関心に応じた学際的な科目を提供します。また、学んだ知識・技能を統合し、問題解決力や新たな価値の創造力を育成するためにゼミナール科目を設けます。

#### 3. 経験の拡充

社会人基礎力を育成するとともに、人間と社会の諸々の相互関係を分析し、多様な人々と協働して環境について学修するためにフィールド科目を設けます。